

木村鷹太郎 （はたろう） 評論家。明治二年九月十八日伊豫國生れ、明治六年七月十八日歿（一八七〇—一九三二）。號鳴潮。帝國大學文科大學哲學史料科卒。陸軍士官學校教授、新聞記者など。明治二十年井上哲次郎、高山樗牛等と大日本協會を創設、機關誌『日本主義』を發刊した。またバイロンの紹介の他、大正五年には「日本民族協會を興し、言語や傳説神話の類々の獨創的且解き」『日本民族研究叢書』として發表し續けた。

著譯書 『日本主義國教論』

（明治二十一年）二月四日開發社）

（東洋西洋）

『倫理學史』（明治二十一年四月五日博愛館「帝國百科全書」）、『鳴潮餘沫』（明治二十二年一月十五日松榮堂書店。増訂第五版一與附贈

補六版・二十八年五月五日尚友館書店）、キセノフオーン著『ソクラテ

テーム人物養成譚』（譯、明治二十四年二月二十一日大學館）、『快

樂』アナクレオン』（明治二十五年一月十日松榮堂書店）、『國字改良

論纂』（合著・堀江秀雄纂、明治二十五年七月二十一日金港堂書籍株

式會社）、『バイ文界之大魔王』（明治二十五年七月二十八日大學

館）、『壯子人物養成譚』（明治二十五年十一月四日大學館）、『バイ

ロン作『（絶美）悲劇詩パリシナ』（譯、明治二十六年二月十五日松榮堂書店。

訂正三版・二十八年五月二十一日尚友館書店）、『オペラトーン全集』

（譯、卷一、松本亦太郎共譯・明治

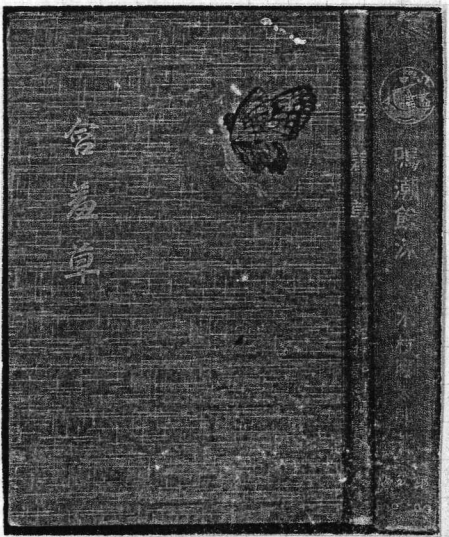
二十六年十月二十四日、卷四・四十

二年十一月二十一日喜山房）、『大

日本建國史』（明治二十八年十一月

十一日尚友館）、『バイロン作』（字宙）の神

人生 祕劇『天魔の怨』（譯、明治四十年一



月七日（松室書局）、『道善美・美の巻』（明治四十年二月一日道善美文庫）

美協會）、シエレー作『今昔草』（扉題「ネムリグサ」譯、明治四十年九月一日武林堂）、『美的道德』（明治四十一年一月四日大日本圖書株式會社）、『古今娘千重』（明治四十一年十二月六日吉丸書房）、『兵部卿護良親王』（清水孝教共著、明治四十五年二月七日明治出版社）、『中將業平秘史』（大正元年十二月十日春秋堂書店）、『バイロン傑作集』（譯著、大正七年四月二十日東雲通信社出版部）、『プラトーン理想國』（譯、縮刷、大正七年八月十日高山房）、『世界の三人宴會』附大文藝史に於ける大古日本』（大正十年十一月二十五日日本民族協會「日本民族研究叢書」）、『天地開闢と高天原』（大正十一年二月二十五日日本民族協會「日本民族研究叢書」）、『慎天不思議の繼體天皇』繼體天皇の大研究・上（大東亞の繼體天皇）（大正十一年二月五日日本民族協會「日本民族研究叢書」）、『バイロン詩傳詩集』（譯、大正十一年二月十日東盛堂）、『星座と其神話』（大正十一年七月十五日東盛堂）、『酒の讚美と其哲學』（一名慈酒已國論）（大正十三年五月二十五日鈴木書房）、『世界思想の源泉』（一名希臘哲學は日本主義及）（昭和二年九月十五日教文社）、『大孫降臨史の世界的研究、世界的意義』（昭和四年二月十日神奈川・日本民族協會「日本民族研究叢書」）、『高千穂天降の天孫と吾田・鹿茸津姫』（昭和四年六月二十五日神奈川・日本民族協會「日本民族研究叢書」）



木村鷹太郎著
在五
年中將
業平秘史

族協會「日本民族研究叢書」(一)等。